



三菱業務用ロスナイ システム部材
コントロールスイッチ接続アダプター
形 名

PZ-RN100CSB₂ (100V 用)

PZ-RN200CSB₂ (単相 200V 用)

適用機種 このコントロールスイッチ接続アダプターは、天井埋込形 DC マイコン専用部材です。

形名	適用形名
PZ-RN100CSB ₂	LGH-N15 ~ 65RXW ₂ (100V で使用) LGH-N80, 100RXV ₂
PZ-RN200CSB ₂	LGH-N15 ~ 65RXW ₂ (単相 200V で使用) LGH-N80 ~ 200RXV ₂ D

取扱説明書 (据付工事説明書付)

据付工事を始める前に必ずこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

据付工事は、販売店様、または専門の工事店様が実施してください。

間違った工事は、故障や事故の原因になります。

お客様ご自身では据付けないでください。

(安全や機能の確保ができません)

据付工事が終わりましたら、この説明書はお客様に必ずお渡しください。

- 本製品はロスナイ本体との同時施工を前提としています。ロスナイ本体据付けと併せて施工ください。
- この製品にはロスナイ本体の他、コントロールスイッチが必要です。カタログ等により別途ご用意ください。
- この製品はCO₂センサー、4回路入力ボックスとの併用はできません。

もくじ



安全のために必ず守ること	2
外形寸法図	3
仕様	3
据付方法	4
LGH-N15 ~ 65RXW ₂ , N80・100RXV ₂ (D) の場合	4
LGH-N150 ~ 200RXV ₂ D の場合	6
電気工事	7
機能設定	11
据付工事後の確認	11
試運転	裏表紙
使用方法	裏表紙

特長





- 本製品をロスナイに取付けることにより、コントロールスイッチでロスナイを操作することができます。
- 本製品1台で複数台のロスナイ(最大15台)を制御することが可能です。(ただし同一グループのみ)

安全のために必ず守ること






■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

	警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
	注意	誤った取扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの



■“図記号”の意味は次のとおりです。

	禁止		浴室据付禁止
	分解禁止		指示に従い必ず行う

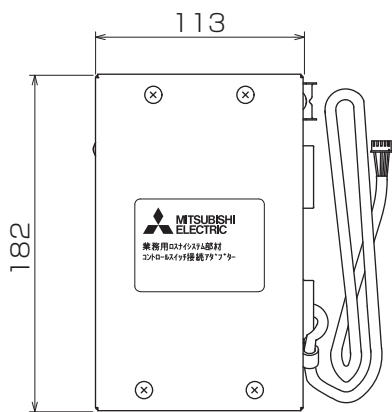
警告

	禁止	高温（40℃以上）や直接炎があたったり、油煙の多い場所には据付けない 火災の原因	 指示に従い必ず行う 電気工事は、電気工事士の有資格者が規定・基準（*）や据付工事説明書に従い据付ける（*）「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」電源回路容量不足や取付不備があると感電、火災の原因 必ず専用回路とし、正しい容量のブレーカーを使用する 電源回路容量不足があると感電、火災の原因 漏電保護用に電源側へ漏電ブレーカーを使用する 漏電した場合火災の原因 不要な配線は絶縁処理を確実にする 絶縁処理しないと火災や感電の原因 アダプターカバーは施工後、必ず閉める ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因 システム部材取付け後、カバー内側に出たねじ先端部はねじキャップで必ず保護する
	分解禁止	改造や必要以上の分解をしない 火災・感電・けがの原因	
	浴室据付禁止	浴室など湿気の多い場所には据付けない 感電および故障の原因	
	指示に従い必ず行う	定格電圧、制御容量範囲内で使用する 間違った電源で使用すると、火災や感電の原因	
		据付け後長期間ご使用にならない場合は、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因	
		指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する。 接続に不備があると火災の原因	

注意

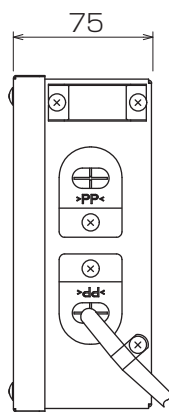
	指示に従い必ず行う	ねじは必ず指定のものを使用する 指定以外のものを使用すると、落下・感電・故障の原因		指示に従い必ず行う	据付けの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因
--	------------------	--	---	------------------	------------------------------

外形寸法図



※リード線のチューブ色は形名によって異なります。

PZ-RN100CSB₂ : 白
PZ-RN200CSB₂ : 黒



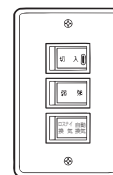
単位 (mm)

付属部品

コードクリップ ……1個 	スクリューキャップ ……3個 	取付ねじ (十字穴付トラススタッピンねじ) ……3本
機能切換スイッチ表示交換銘板……1枚 自動換気では、室内、外気温度を検知し、自動的に「ロスナイ換気」と「普通換気」を切り換えます。DCリブレスマイコンをコントロールスイッチで操作する場合、機能切換スイッチの銘板を入替えてください。		※PZ-N05SLB ₂ (D)以降、もしくはPZ-N20SLB ₂ (D)以降のコントロールスイッチ (別売) は、銘板の入替は不要です。

別売部品

コントロールスイッチ……1台



仕様

形名	PZ-RN100CSB ₂ (100V 専用)	PZ-RN200CSB ₂ (単相 200V 専用)
使用条件	周囲温湿度 -10 ~ +40°C、80% RH 以下	
	設置場所 ロスナイ本体コントロールボックス部	
電源	100V 定格周波数 50/60Hz	単相 200V 定格周波数 50/60Hz
動作 (運転) 内容	本製品をロスナイ制御回路基板の CN16 に接続し、ロスナイ制御回路基板の SW5-9 を ON にすることで、コントロールスイッチの操作に合わせてロスナイの操作が可能になります。 運転停止切換時：ロスナイが運転 / 停止します。 強 / 弱切換時：ロスナイの風量が強 / 弱に切り換ります。 ロスナイ換気 / 自動換気切換時：ロスナイの換気モードがロスナイ換気 / 自動換気に切り換わります。	
質量	1 kg	

※ 本製品では微弱運転は使用できません。微弱運転を使用したい場合は、別売部材ジーニアスリモコンを接続し、リモコンより操作してください。

※ 別売部材CO₂センサー、4回路入力ボックスとの併用はできません。

※ 本製品使用時、ロスナイは以下を使用できません。

- ・ ジーニアスリモコン、ロスナイコンパクトリモコンの接続
- ・ 外部機器および三菱スリムエアコンとの連動
- ・ 風量・普通換気切換入力での操作
- ・ 遠方/手元切換、発停入力での操作
- ・ 三菱マルチエアコン、三菱ビル空調管理システム (MELANS) の接続

据付方法

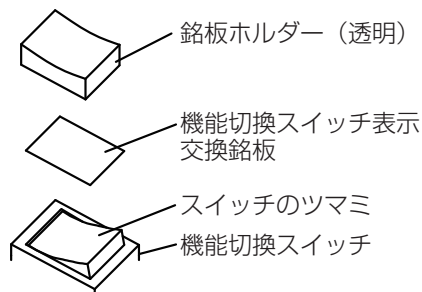
必ず元電源を「切」の状態で行う。

機能切換スイッチの銘板交換

本製品使用時は機能切換モードが「ロスナイ換気/自動換気」となりますので、コントロールスイッチ（別売）の機能切換スイッチの銘板を交換してください。

※既に機能切換スイッチの銘板が「ロスナイ換気/自動換気」の場合は交換不要です。

(スイッチ詳細図)

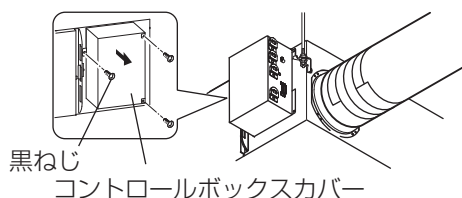


機能切換スイッチの表示銘板を付属の交換銘板に交換する

- ① 銘板ホルダー (透明) を引き上げて取りはずす。
- ② 銘板ホルダー (透明) 内の銘板を入替える。
- ③ 銘板ホルダー (透明) をツマミにかぶせる。

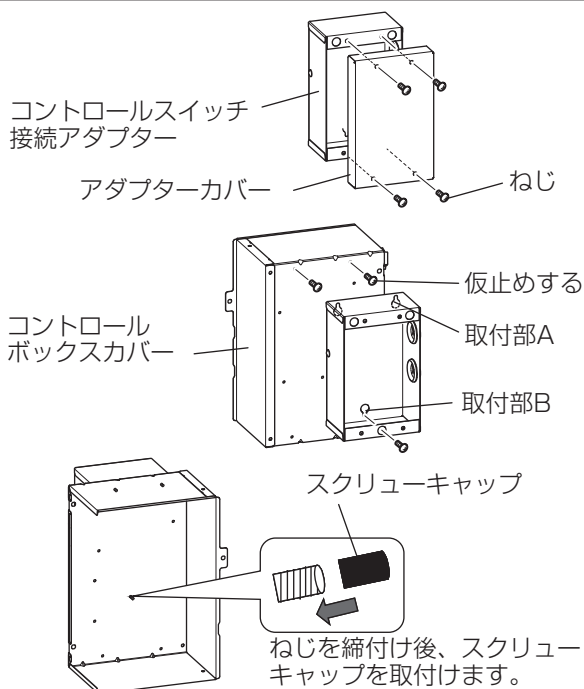
LGH-N15 ~ 65RXW2、N80・100RXV2(D) タイプの場合

1



黒ねじ3本をはずして、コントロールボックスカバーをはずす。

2



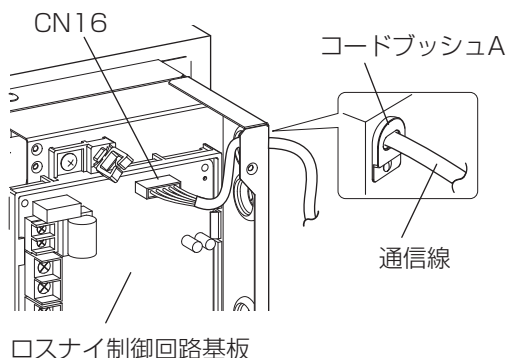
コントロールスイッチ接続アダプターの取付け

1. コントロールスイッチ接続アダプターのカバーを取りはずす。(ねじ4か所)
2. コントロールボックスカバーの上部2か所に取付ねじ (付属) を仮止めする。
3. コントロールスイッチ接続アダプターのねじ取付位置のうち、取付部Aをコントロールボックスカバーに仮止めしたねじに引っ掛け、ねじを本締めして固定する。
4. 取付部Bに取付ねじ (付属) を締付ける。
5. 取付けたねじ3か所の先端にスクリューキャップ (付属) を取付ける。

お願い

- ねじの締付トルクは $1.42 \pm 0.25 \text{ N} \cdot \text{m}$ としてください。

3



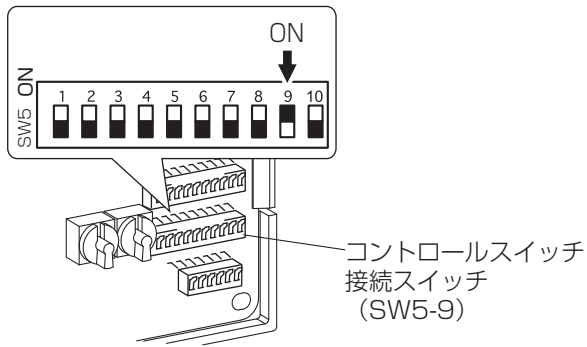
コントロールスイッチ接続アダプター通信線のロスナイ制御回路基板への接続

1. ロスナイ本体のコードブッシュAにコントロールスイッチ接続アダプターの通信線を通す。
2. ロスナイ制御回路基板のCN16コネクタに通信線を接続する。

お願い

- コネクタ接続は「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。
- コネクタに力がかからないようにしてください。

4



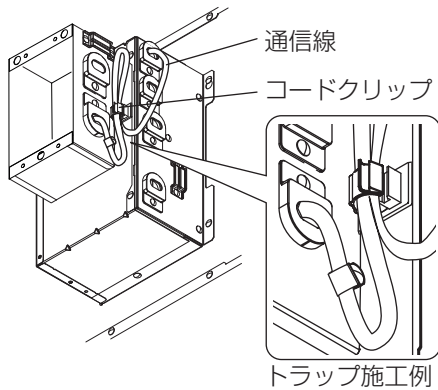
ロスナイ制御回路基板の機能設定

1. ロスナイ制御回路基板のSW5-9をONにする。
 2. コントロールボックスカバーをロスナイ本体に取付ける。
- 11ページの「機能設定」を併せて確認してください。

お願い

- コントロールボックスカバーを取付ける際、通信線をかみこまないように注意してください。
- 他のスイッチに触れないでください。

5



コントロールスイッチ接続アダプター通信線の配線処理

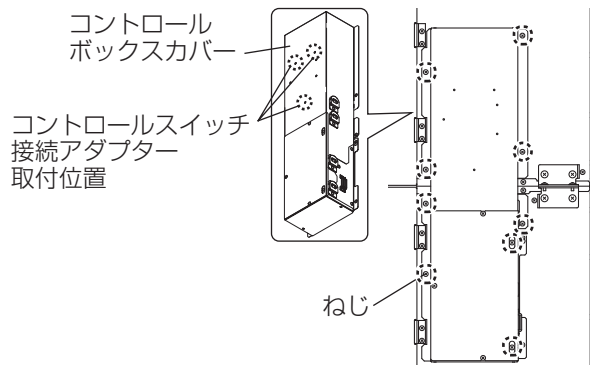
ロスナイ本体制御回路基板側面に付属のコードクリップでコントロールスイッチ接続アダプター通信線を束ねる。

お願い

- 通信線を伝って製品内に水が浸入するのを防止するため、通信線はたわみを設けるなどのトラップ施工をしてください。

LGH-N150・200RXV2D タイプの場合

1



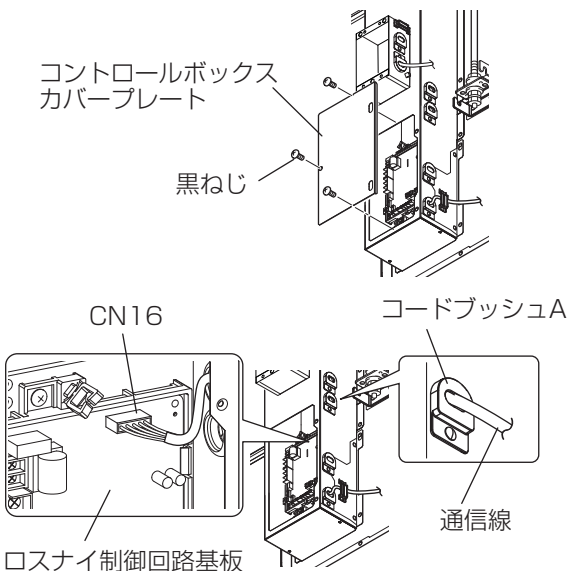
ねじ9本をはずして、コントロールボックスカバーをはずす。

2

コントロールスイッチ接続アダプターの取付け

LGH-N15~65RXW₂, N80・100RXV₂(D)タイプの場合を参照してコントロールボックスカバーにコントロールスイッチ接続アダプターを取付ける。

3



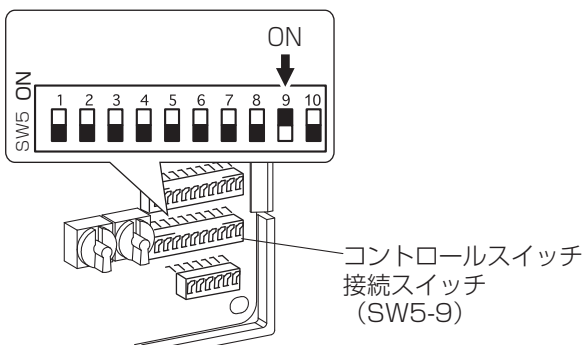
コントロールスイッチ接続アダプター通信線のロスナイ制御回路基板への接続

1. コントロールボックスカバーをロスナイ本体に取付ける。
2. 黒ねじ3本をはずして、コントロールボックスカバープレートを取りはずす。
3. ロスナイ本体のコードブッシュAにコントロールスイッチ接続アダプター通信線を通す。
4. ロスナイ制御回路基板のCN16コネクタに通信線を接続する。

お願い

- コネクタ接続は「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。
- コネクタに力がかからないようにしてください。
- コントロールボックスカバーを取付ける際、通信線をかみこまないように注意してください。

4



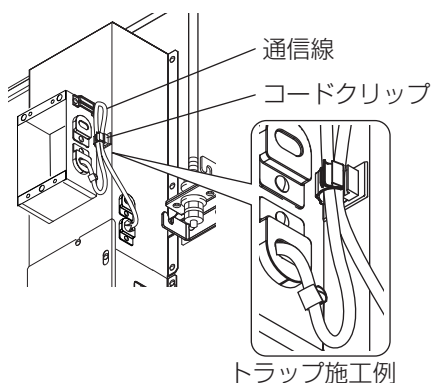
ロスナイ制御回路基板の機能設定

1. ロスナイ制御回路基板のSW5-9をONにする。
 2. コントロールボックスカバープレートを取付ける。
- 11ページの「機能設定」を併せて確認してください。

お願い

- コントロールボックスカバープレートを取付ける際、通信線をかみこまないように注意してください。
- 他のスイッチに触れないでください。

5



コントロールスイッチ接続アダプター通信線の配線処理

ロスナイ本体制御回路基板側面に付属のコードクリップでコントロールスイッチ接続アダプター通信線を束ねる。

お願い

- 通信線を伝って製品内に水が浸入するのを防止するため、通信線はたわみを設けるなどのトラップ施工をしてください。

電気工事

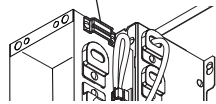
この製品はシステム構成により電気工事の方法が異なります。
それぞれ必要な部分の電気工事を行ってください。

警告

- 定格電圧、制御容量範囲内で使用する
指定以外で使用すると、火災や感電の原因
- 端子台接続部は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する
接続に不備があると火災の原因
- 電気工事は、電気工事士の有資格者が規定・基準(*)や据付工事説明書に従い据付ける
(*)「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」
電源回路容量不足や取付不備があると感電、火災の原因
- 必ず専用回路とし、正しい容量のブレーカーを使用する
電源回路容量不足があると感電、火災の原因
- 不要な配線は絶縁処理を確実にする
絶縁処理しないと火災や感電の原因
- 漏電保護用に電源側へ漏電ブレーカーを使用する
漏電した場合火災の原因

1

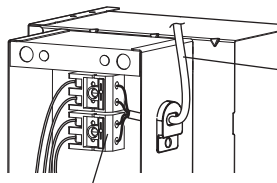
コードクリップ



※図はLGH-N15RXW₂タイプ
を示します。

コントロールスイッチ接続アダプターに取付け
られているコードクリップを取りはずす。

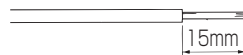
2



コントロールスイッチ
接続電線

端子台

皮むき寸法

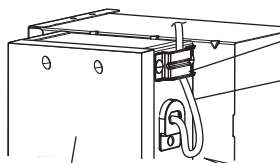


コントロールスイッチ接続電線（単線φ1.6 例
VVF）をコードブッシュに通し、結線図を参照し
て端子台に接続する。
結線図は組合わせ表をご覧ください。

お願い

- 電線の皮むき寸法は15mmとしてください。皮むき寸
法が長いと芯線どうしが接触して短絡するおそれがあり
ます。

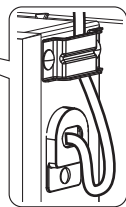
3



コードクリップ

コントロールスイッチ
接続電線

アダプターカバー



トラップ施工例

コントロールスイッチ接続電線をコードクリ
ップで固定し、コントロールスイッチ接続アダ
プターのアダプターカバーを取付ける。

お願い

- 電線を伝って製品内に水が浸入するのを防止するため、
電線はたわみを設けるなどのトラップ施工をしてくだ
さい。

下記組合わせ表をご確認いただき、結線図の確認をお願いします。

既設の製品を置き換える場合は、リブレース前の本体形名とコントロールスイッチ形名から、結線図を確認してください。

■組合わせ表

定格電圧	コントロールスイッチ 接続アダプター形名	リブレース前 本体形名	コントロール スイッチ形名	結線図	定格電圧	コントロールスイッチ 接続アダプター形名	リブレース前 本体形名	コントロール スイッチ形名	結線図	
100V	PZ-RN100CSB2	LGH-N15~100RS3 LGH-N15~100RS2 LGH-N15~100RS LGH-15~100RS5 LGH-15~100RS2 LGH-15~100RS LGH-15R3 LGH-15R4 LGH-25R3-S LGH-25R4 LGH-35R LGH-50R5-S LGH-50R6 LGH-65R LGH-80R2Z LGH-100R2Z	PZ-N05SLB3 PZ-N20SLB2 PZ-N05SLB2 PZ-N20SLB PZ-N05SLB PZ-05SLB3 PZ-20SLB PZ-05SLB2 PZ-05SLB	①	単相 200V	PZ-RN200CSB2	LGH-N15~100RS3D LGH-N15~100RS2D LGH-N15~100RSD LGH-15~200RS5D LGH-15~100RS2D LGH-15~100RS-D LGH-150RS4D LGH-200RS4D	PZ-N05SLBD3 PZ-N20SLBD2 PZ-N05SLBD2 PZ-N20SLB-D PZ-N05SLB-D PZ-05SLB3-D PZ-20SLB-D PZ-05SLB2-D	②	
		LGH-15~100RS4D LGH-15~100RS3D	PZ-05SLB3-D PZ-20SLB-D PZ-05SLB2-D	⑤						
				LGH-15R3 LGH-25R3 LGH-50R5 LGH-25R3-S LGH-50R5-S LGH-80R2Z LGH-100R2Z	PZ-03SLB PZ-01SLB	③				
		LGH-15~100RS4 LGH-15~100RS3	PZ-05SLB3 PZ-20SLB PZ-05SLB2	④						

■ 組合わせ表に記載がない場合は、三菱電機換気送風機技術相談センターまでお問い合わせください。

※ 24 時間換気ユニット専用コントロールスイッチは対応しておりません。

※ 置き換え前のコントロールスイッチの劣化状況（スイッチの発熱・スイッチ操作が異常に軽い・スイッチやカバーの変色、膨れ、ヒビ割れなど）に応じて、コントロールスイッチの交換もご検討ください。

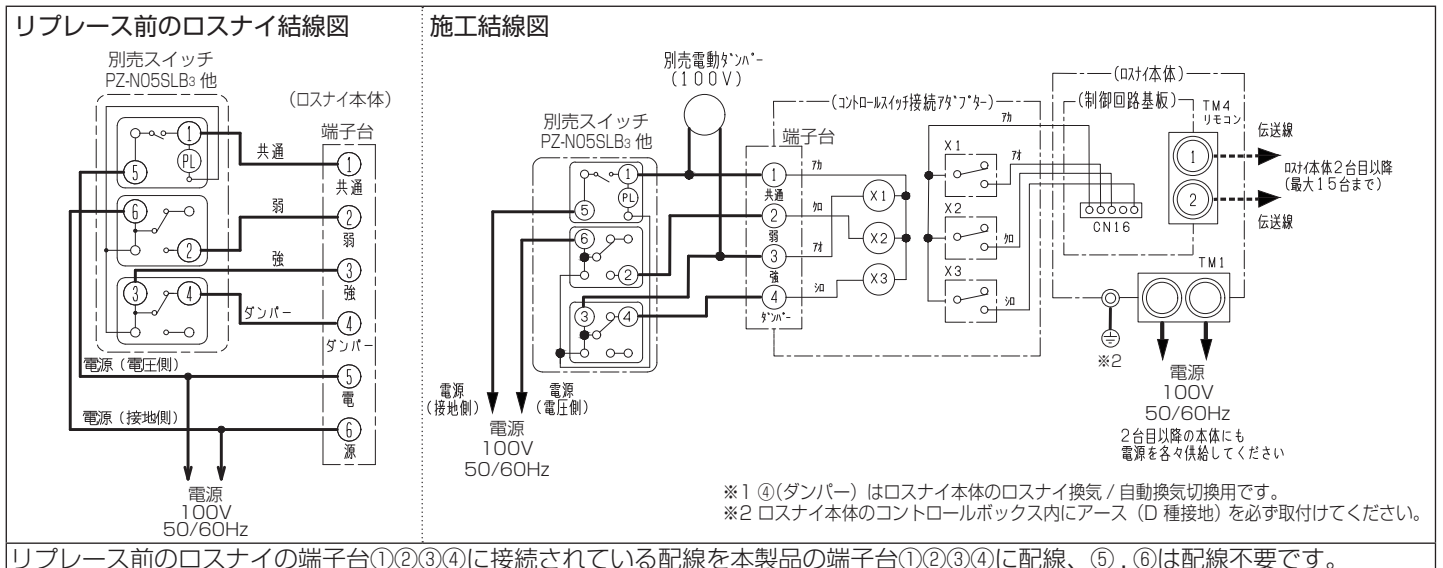
■結線図 ※太線部を有資格者である電気工事士にて結線してください。

・ロスナイ本体のリモコン伝送線接続端子（TM4）間を配線することで、コントロールスイッチ接続アダプター 1 台で最大 15 台の複数台運転が可能です。

お願い

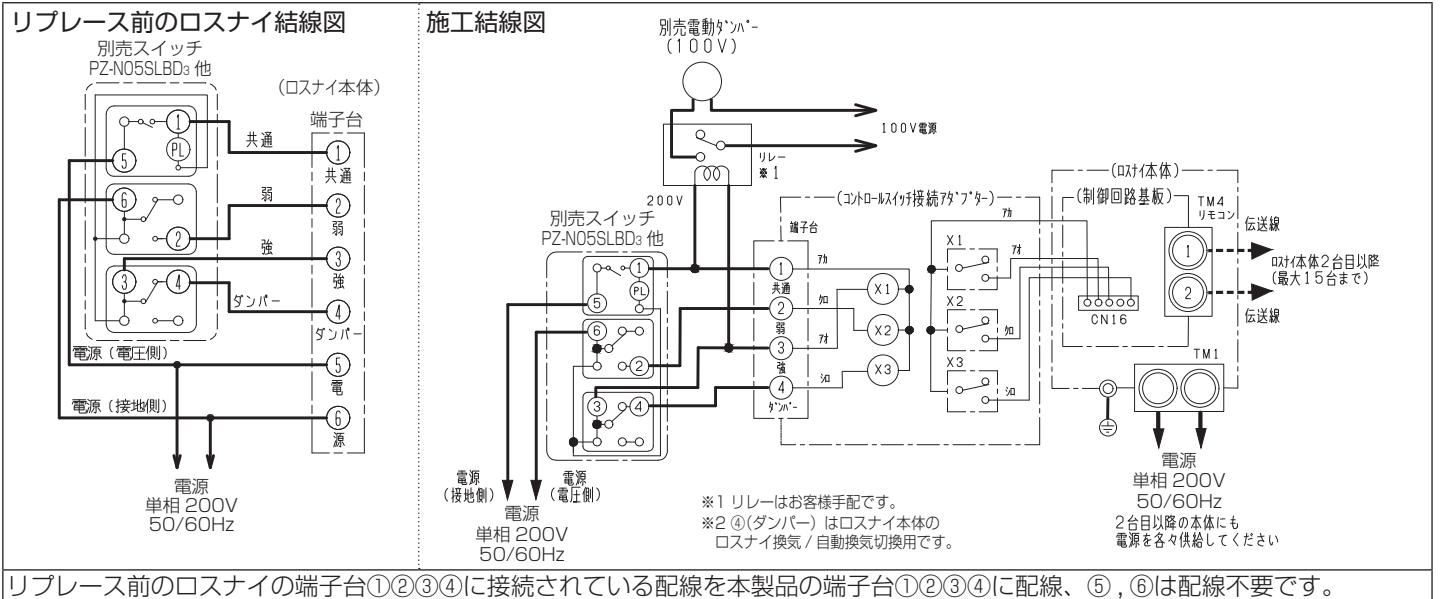
- ・ 結線を間違えるとロスナイが動作しなかったり、コントロールスイッチ接続アダプターが破損することがあります。結線図を確認して間違いのないように結線してください。
- ・ コントロールスイッチごとに結線方法が異なります。結線図を確認して間違いのないように結線してください。
- ・ 既設の電源配線等を再利用する場合は、キズや途中接続による導通不良がなく、導線と大地間の絶縁抵抗を 500V メガーで測定し、100MΩ 以上であることを確認してください。

■結線図①



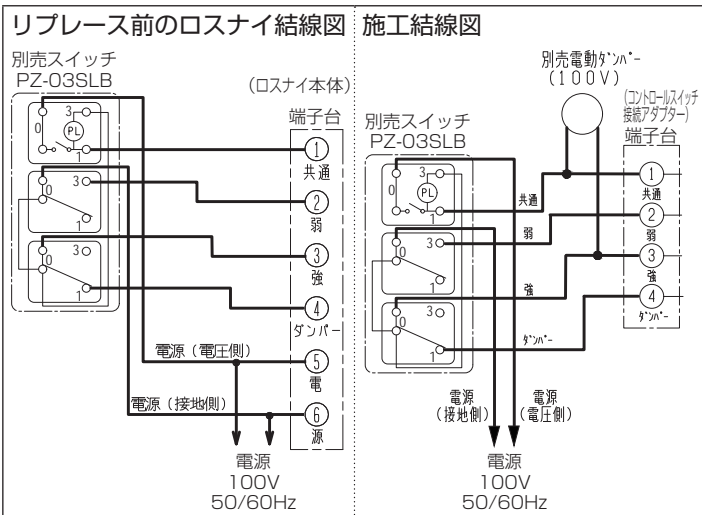
リブレース前のロスナイの端子台①②③④に接続されている配線を本製品の端子台①②③④に配線、⑤、⑥は配線不要です。

■結線図②



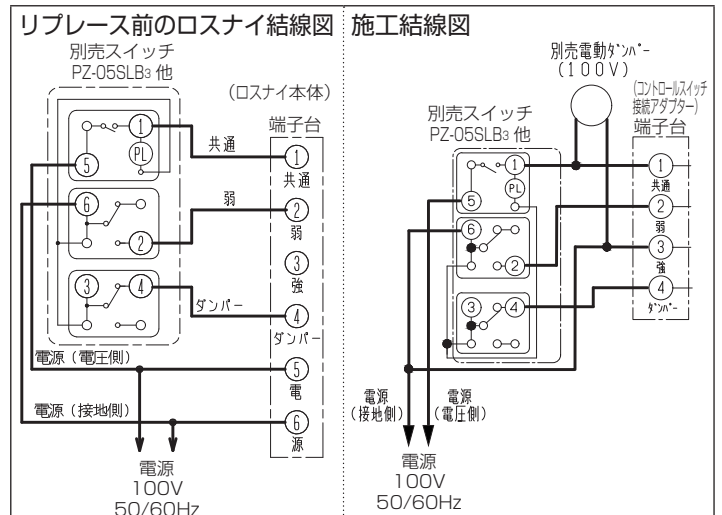
リプレース前のロスナイの端子台①②③④に接続されている配線を本製品の端子台①②③④に配線、⑤、⑥は配線不要です。

■結線図③



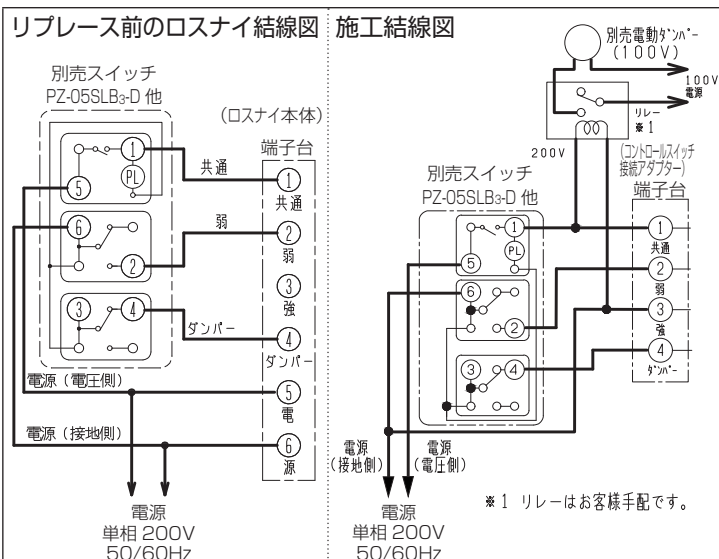
リプレース前のロスナイの端子台①②③④に接続されている配線を本製品の端子台①②③④に配線、⑤、⑥は配線不要です。

■結線図④



リプレース前のロスナイの端子台①②④に接続されている配線を本製品の①②④に配線、⑥に接続されている配線を③に配線する。⑤は配線不要です。

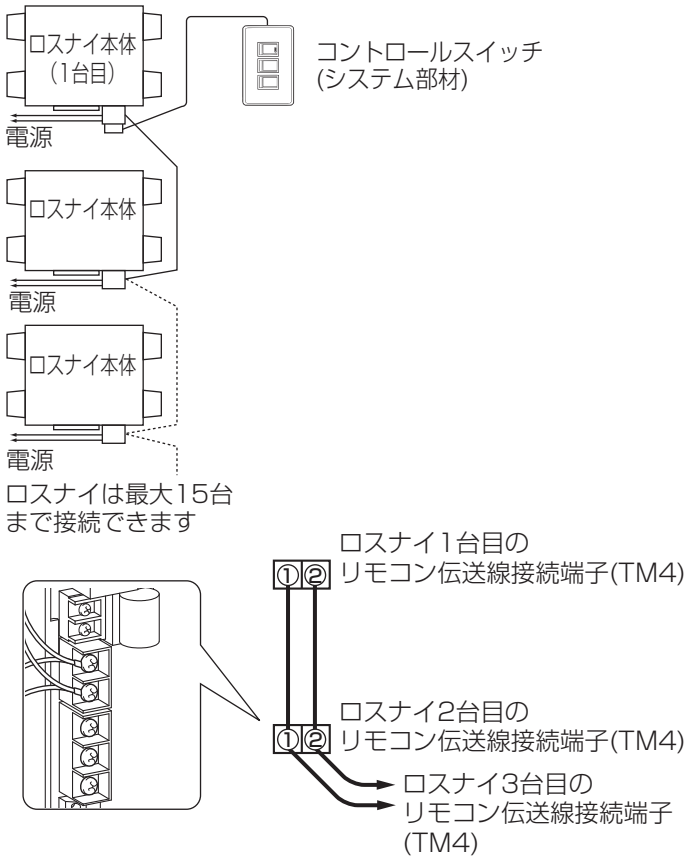
■結線図⑤



リプレース前のロスナイの端子台①②④に接続されている配線を本製品の①②④に配線、⑥に接続されている配線を③に配線する。⑤は配線不要です。

- 結線図③、④の施工結線図のコントロールスイッチ接続アダプターからロスナイ本体までの結線は結線図①と同様です。また、ロスナイ本体のコントロールボックス内にアース (D種接地) を必ず取付けてください。
- 結線図⑤の施工結線図のコントロールスイッチ接続アダプターからロスナイ本体までの結線は結線図②と同様です。
- ロスナイの運転/停止に合わせて電動ダンパー (別売) を動作させる場合は、施工結線図通りに結線をしてください。
※機能別 (給気用送風機と連動、排気用送風機と連動等) に動作させる場合やロスナイの複数台運転時には、ロスナイ制御回路基板のモニター出力端子 (TM3) に接続し、機能設定をしてください。 (詳細はロスナイ本体の据付工事説明書の電気工事「システム構成 6 各種信号を取り出す、または電動ダンパー・補助送風機を接続する場合」を参照してください)

ロスナイを複数台運転する場合



(1)リモコン伝送線接続端子 (TM4) の①② (無極性) をロスナイ1台目から2台目へ、2台目から3台目へ…最大15台までを伝送線で接続する。

線種：2芯シース付ケーブル

線径：0.3mm²

(2)本製品を接続した1台目のみ、ロスナイ本体のアドレス設定を「1」に設定する。(詳細は、ロスナイ本体の据付工事説明書 別冊「アドレス設定」を参照してください)

お願い

- 電源線を接続しないようにしてください。
- 本製品どうしを接続しないでください。
- 各ロスナイはそれぞれに電源を接続してください。

■旧機種 (スタンダードタイプ) との複数台運転はできません。

DCマイコンと旧機種 (スタンダードタイプ) は、別グループで使用してください。

機能設定

本製品を使用時は、ロスナイ制御回路基板の SW5-9 を ON にする。

本体回路			動作
スイッチ	スイッチ設定	チェック	
SW5	ON OFF <input type="checkbox"/> 9		コントロールスイッチ接続アダプターの使用が可能になります

※ ON にしないと本製品が使用できません。

※本製品を使用せず、ジーニアスリモコン、ロスナイコンパクトリモコンを用いた運転、M-NET での集中管理を行う場合、本設定を OFF にしてください。

※ロスナイを複数台運転する場合、本製品を接続した 1 台目の SW5-9 を ON、アドレス設定を「1」に設定してください。

据付工事後の確認

本体の据付工事が終わりましたら、下表に従ってもう一度点検してください。
不具合がありましたら必ず直してください。

試運転前に下記事項をご確認いただき、必ずチェックボックス をチェック願います。

- | | |
|---|----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 電源と本体形名、コントロールスイッチ、コントロールスイッチ接続アダプターの組み合わせは正しいですか？ | 【電気工事 ■ 組合わせ表 参照】 |
| <input type="checkbox"/> 接続電線は結線図通り結線されていますか？ | 【結線図 参照】 |
| <input type="checkbox"/> 接続電源の端子台への接続は確実ですか？ | 【電気工事 2 参照】 |
| <input type="checkbox"/> 接続電源の固定は確実ですか？ | 【電気工事 3 参照】 |
| <input type="checkbox"/> 基板上的コネクタのほすれはありませんか？ | 【据付方法 3 参照】 |
| <input type="checkbox"/> ロスナイ制御回路基板の SW5-9 の設定は正しいですか？ | 【据付方法 4 参照】 |
| <input type="checkbox"/> 複数台運転時のロスナイ本体のアドレス設定は正しいですか？ | 【電気工事 ロスナイを複数台運転する場合 参照】 |

※初期不具合を防止するため、必ず据付工事後の確認を実施いただき、お客様にお渡し願います。

試運転

システム全体の設置完了後、天井板を張る前に誤結線がないか確認し、お客様立ち合いで試運転を行ってください。

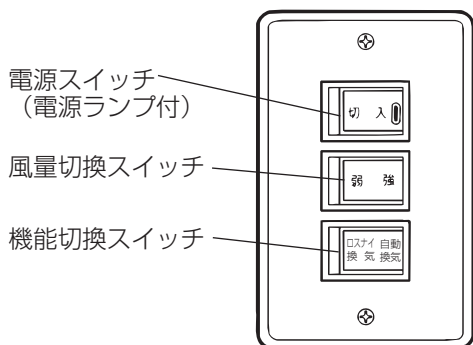
1. コントロールスイッチの電源スイッチが「切」になっていることを確認し、ロスナイおよびコントロールスイッチ接続アダプターに電源を供給する。
2. ロスナイ制御回路基板の SW2-10 を一度 ON にし、OFF に戻す。
※ SW2-10 を ON → OFF に切り換え後、20 分間はダンパーの試運転モードになります。
外気温度、室内温度によらず、機能切換スイッチを「自動換気」に操作するとダンパーが普通換気に切り換わります。
※複数台運転時に、2 台目以降のダンパー動作を確認する場合は、ダンパー動作を確認したいロスナイの SW5-9 を ON にした状態で、SW2-10 を ON → OFF に切り換えてダンパーの試運転モードにしてください。
3. コントロールスイッチの電源スイッチを「入」、風量切換スイッチを「弱」にしてコントロールスイッチ接続アダプターの端子台①②間にテスターを当て、電圧を測定する。
異電圧が印可されている場合は、正しい電圧で結線し直す。
4. コントロールスイッチの電源スイッチを「入」にし、風量切換スイッチを「強・弱」に切り換えてロスナイの給気と排気の風量が切り換わることを確認する。
5. コントロールスイッチの電源スイッチを「入」にし、機能切換スイッチを「ロスナイ換気・自動換気」に切り換えてダンパーが切り換わることを確認する。

試運転で異常があった場合

項目	処置
コントロールスイッチの電源スイッチを入れても運転しない	・結線の確認 ・電源の確認 ・適用機種の確認 ・ロスナイ単体の試運転確認 *1 ・ロスナイ制御回路基板の SW5-9 の確認 ・ロスナイを複数台運転する場合は、本体基板のアドレス設定の確認
コントロールスイッチの風量切換スイッチを切り換えても風量が切り換わらない	・結線の確認 ・ロスナイ単体の試運転確認 *1
コントロールスイッチの機能切換スイッチを切り換えてもダンパーが切り換わらない	・結線の確認 ・ロスナイ単体の試運転確認 *1 ・試運転モード中（20 分以内）であるか確認

*1 元電源を入れ、ロスナイ本体の据付工事説明書の試運転「**2** ロスナイ単体の試運転」を参考に試運転スイッチ（SW2-1）でロスナイ単体の試運転を実施し、送風機の運転状態およびダンパー動作を確認する。

使用方法



(代表機種：PZ-N05SLB3)

運転をする

電源スイッチを「入」にする。

- ロスナイ本体の運転開始
電源ランプ点灯

風量を切り換える

風量切換スイッチで「強・弱」を選択する。

機能を切り換える

機能切換スイッチで「ロスナイ換気」と「自動換気*」を切り換える。

停止する

電源スイッチを「切」にする。

- ロスナイ本体の運転停止
電源ランプ消灯

* 自動換気：ロスナイ本体のサーミスタにより外気、室内温度を検知して、ロスナイ換気と普通換気を自動で切り換えます。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号